

### 3. Q & Aコーナー

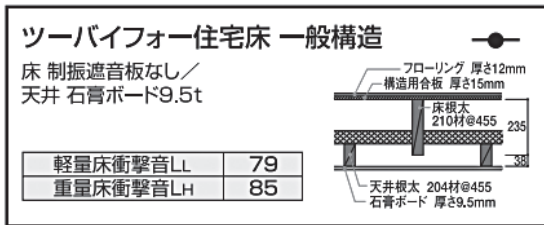
## アスファルト系遮音板を利用した効果について教えてください

東邦亜鉛㈱ ソフトカーム事業部

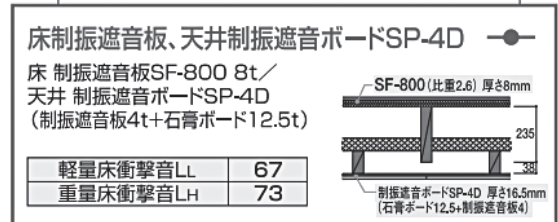
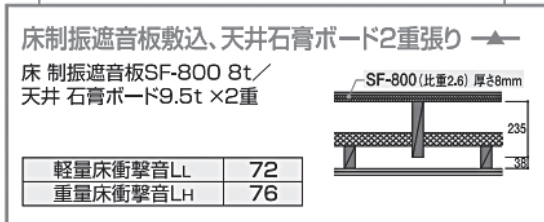
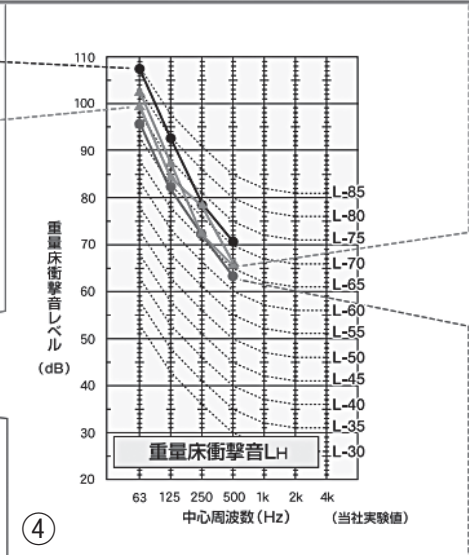
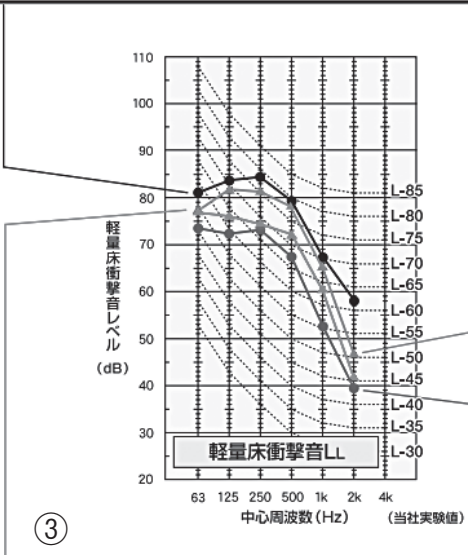
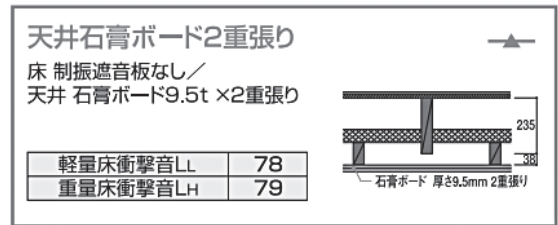
A. ここでは、アスファルト系遮音板をツーバイフォー住宅に利用した場合の床衝撃音レベルの改善効果の測定例を下記に示します。

ツーバイフォー住宅の一般的な床構造①に対し、②天井石膏ボードを2層、③更に床面に制振遮音板SF-800(厚さ8mm)を挿入、④天井面に制振遮音ボードSP-4D(制振遮音材4mm+石膏ボード12.5mm)を利用した場合の軽量床衝撃音レベル $L_L$ 、および重量床衝撃音レベル $L_H$ の測定を行った結果、アスファルト系遮音板を利用した改善効果を確認できました。騒音や足音等の上下階の問題になりやすい共同住宅のみならず、単世帯住宅や、2世帯住宅等の床衝撃音レベル改善にご利用下さい。

①



②

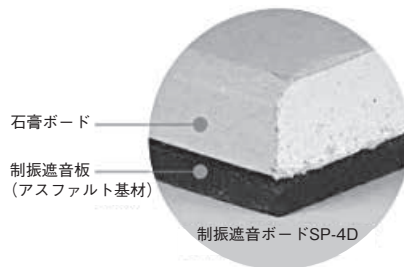


※上記測定は、壁からの影響を極力抑えるため、下階の四週壁を遮音壁としている試験室にて測定を行ったものであり、現場における性能を保証するものではありません。

■使用した製品



床用制振遮音板SF-800  
厚さ 8mm  
サイズ 455mm×910mm  
面密度 約20.8kg/m<sup>2</sup>



制振遮音ボードSP-4D  
厚さ 16.5mm(制振遮音板4mm+石膏ボード12.5mm)  
サイズ 910mm×1820mm  
面密度 約20.4kg/m<sup>2</sup>

## 音響商品開発を支援します

音響、振動等の専門研究機関の一般財団法人小林理学研究所と連携し、実験室における材料等の音響特性の測定を当協会がリーズナブルな費用で受託、音響商品開発のご支援を致します。

### [測定項目]

- 1.透過損失測定
- 2.残響室法吸音率測定
- 3.垂直入射吸音率測定
- 4.音圧反射率測定
- 5.流れ抵抗測定
- 6.振動減衰測定
- 7.床衝撃音レベル低減量測定
- 8.音響パワーレベル測定（残響室法）

一般社団法人日本音響材料協会 事務局までお問い合わせください。

〒108-0073

東京都港区三田 2-14-7 ローレル三田 605

Tel : 03-3452-6740 Fax : 03-3452-6795

Mail : info@onzai.or.jp